

平成19年度 施策評価表

所属 28100000

教育委員会 指導室

施策	1859 豊かな心の育成					
区分						
対象	区立の小学校・中学校 児童・生徒及びその保護者					
施策意図	社会生活のルールを学び、悩みを解決する中で、心豊かな学校生活を送っている					
現状と課題	社会の基本的ルールを守れない子ども、良好な人間関係を築くことができない子どもが増加している。そこで、児童・生徒に自然体験や宿泊を伴った集団生活など多様な体験をさせ、社会性や協調性を身に付けさせるとともに、学校生活が児童・生徒にとって、より充実したものとなるよう工夫する必要がある。					
成果指標	1：学校生活に満足している児童・生徒の割合（確かな学力の定着度調査の調査項目）2：あいさつや工夫などの実践している児童・生徒の割合（確かな学力の定着度調査の調査項目）					
目標達成状況			平成17年度	平成18年度	平成19年度	
	成果指標1 [%]	予定	75.00	76.00	77.00	
		実績	77.00	78.00		
	成果指標2 [%]	予定	64.00	65.00	66.00	
		実績	68.00	84.00		
	成果指標3 []	予定				
		実績				
	トータルコスト (千円)	予定		709,290	789,489	
		実績	794,390	684,213		
	施策の位置付け	区の関与度合	区中心。教育振興ビジョンの重要な施策の一つが、子どもたちの豊かな心の育成であるとともに、子どもが抱える悩みや不登校に関する専門的な教育指導は不可欠である。			
区民ニーズへの貢献		大きい。児童・生徒が悩みを解決し、心豊かに、互いに思いやりながら学び、地域で生き生きと生活することは、保護者だけでなく地域社会や区民の強い願いである。				
成果向上の必要性		向上必要。児童・生徒に豊かな心を育成するためには、あいさつができることを基本として、規範意識の育成や奉仕活動等の体験活動をさらに充実することが重要である。				
成果向上の容易性		容易ではない。学校教育において児童・生徒により多様な経験をさせていくことが重要であり、現在実施している各事業を継続・充実し、積極的な取組を推進する必要がある。				
位置付け総合評価	拡充。葛飾区教育振興ビジョンの重要施策である「豊かな心の育成」を図ることは、区民ニーズの高いものであり、公教育の使命である。豊かな心の育成に関する各事業を継続・充実・発展していくことは、重要であると判断している。					
施策目的達成のための事務事業	事業コード	名 称			トータルコスト(千円)	総合評価
	185914	C A P 講習会			5,509	6
	185903	養護学校管理運営（保田養護学校）			121,126	5
	185909	サポートチーム等地域支援事業			1,760	5
	185911	教育相談			22,113	5
	185912	維持管理（総合教育センター）			39,662	5
	185913	適応指導教室運営			2,602	5
	185901	日光林間学園管理運営			147,777	4
	185902	あだたら高原学園管理運営			108,030	4
	185906	連合行事			31,798	4
185907	移動教室、体験学習			109,016	4	

【総合評価】6=拡充/5=継続/4=改善/3=再構築/2=縮小/1=廃止・休止/0=今回評価なし

コスト分析表

年 度 平成19年度

所 属 28100000

施 策 1859

教育委員会 指導室

豊かな心の育成

期 間 平成17年度 ~ 平成19年度

(単位：千円)

		NO	平成17年度	平成18年度	平成19年度			
予 定	財源内訳	国庫支出金	(1)		0	0		
		都道府県支出金	(2)		4,277	4,653		
		地方債	(3)		0	0		
		その他	(4)		7,495	6,292		
		一般財源	(5)		601,773	693,847		
	直接費	事業費	(6)		445,707	550,578		
	職員人件費	人件費	(7)		165,138	146,114		
		再雇用職員分	(8)		2,700	8,100		
		(職員数：賦課)	(9)		20.74	16.99		
		(職員数：配賦)	(10)					
		職員数合計(9)+(10)	(11)		20.74	16.99		
	間接費	(12)		0	0			
	調整額	(加算)減価償却費	(13)		42,329	42,333		
		(加算)金利	(14)		37,450	30,471		
		(加算)退職給与引当	(15)		15,966	11,893		
		(控除)コスト対象外	(16)		0	0		
		(控除)雑収入	(17)		0	0		
	調整額計 (13)+(14)+(15)-(16)-(17)	(18)			95,745	84,697		
	トータルコスト (6)+(7)+(8)+(12)+(18)	(19)			709,290	789,489		
実 績	財源内訳	国庫支出金	(20)	6,344	0			
		都道府県支出金	(21)	5,977	2,597			
		地方債	(22)	0	0			
		その他	(23)	7,455	5,637			
		一般財源	(24)	673,047	586,785			
	直接費	事業費	(25)	538,240	435,862			
	職員人件費	人件費	(26)	151,702	151,357			
		再雇用職員分	(27)	2,881	7,800			
		(職員数：賦課)	(28)	19.94	18.79			
		(職員数：配賦)	(29)					
		職員数合計(28)+(29)	(30)	19.94	18.79			
	間接費	(31)	0	0				
	調整額	(加算)減価償却費	(32)	42,329	38,591			
		(加算)金利	(33)	43,992	37,450			
		(加算)退職給与引当	(34)	15,246	13,153			
		(控除)コスト対象外	(35)	0	0			
		(控除)雑収入	(36)	0	0			
	調整額計 (32)+(33)+(34)-(35)-(36)	(37)	101,567	89,194				
	トータルコスト (25)+(26)+(27)+(31)+(37)	(38)	794,390	684,213				

施策名	豊かな心の育成
-----	---------

担当課：

指導室

施策の達成状況

【達成度評価】

小・中学校スクールカウンセラーによる家庭訪問や相談の充実、「アドバイザースタッフ」を活用した不登校・学校不適応に向けた事業の実施により、一人一人の児童・生徒に応じた対応の効果が表れている。また、全学校をあげて取り組んだあいさつ運動の成果が表れてきている。確かな学力の定着度調査における調査結果から、児童・生徒の学校生活への満足度や自ら進んであいさつを心がけている児童・生徒数の増加が見られる。このように各事業の継続・充実を図ることによって、豊かな心の育成に向けた取組は、着実に成果が上がっている。

構成事務事業の次年度方向性

【次年度方向性の考え方】

葛飾区教育振興ビジョンの重要施策である「豊かな心の育成」を図ることは、区民のニーズの高いものであり、公教育の使命である。したがって、豊かな心の育成にかかわる各事業を継続・拡充していくことは、今後も重要であると判断している。小学校全児童による「早寝早起き朝ごはん食べようカレンダー」の実践による家庭教育の充実、奉仕活動および職場体験の充実、学校支援指導員事業による効果的な配置など、各事業を継続・充実させ、豊かな心の育成をさらに図っていく。